
























カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																					
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
																												
人権・労働	1	【差別的禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している			基本	・採用時において性別、年齢、出身等の差別をしていない。採用後においても、雇用、教育、昇進・登用などの雇用条件で差別しない方針を堅持することを経営幹部間で確認している。							5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3										16.1 16.2 16.7
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている			基本	・就業規則、服務規律にハラスメントを禁止する旨を明記している。							5.1 5.2 5.5			8.5 8.8												16.1
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			基本	・フレックスタイム制度を導入し、長時間労働にならない働き方を推奨し、子育て中の社員も無理なく働き続ける体制を整備している。 ・毎月社員の労働時間を部門長が確認し、必要に応じて対応を指示している。										8.5 8.8												
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している			基本	【予定】外国人労働者を雇用した場合には、雇用条件・待遇面での差が生じないように適切な処遇や労働環境の整備を行う。					4.4						8.7 8.8		10.2 10.3									
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている			基本	・保護メガネ、防塵マスク等保護具を支給し、作業者の安全や健康に配慮している。 ・朝礼にて作業の注意喚起、行動予定の確認を行っている。 ・月1回職場会議を開催し、ヒヤリハット報告、危険予知活動、品質コントロール結果の報告を実施している。							3				8											
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している			基本	【予定】メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を計画している。							3															
	7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている			基本	・女性の活躍を促進し、妊娠・出産・育児の健康状態や家庭状況に配慮した労働環境を整備している。 【予定】障がい者、外国人等多様な人材が活躍できるように職場環境を柔軟に対応する。								5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
	8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる			応用	・年2回の社内健康診断に全員参加するように指導している。 ・人間ドック受診診療費の一部負担を行っている。							3				8											
	9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している			応用	・技能・資格取得に向けた支援制度があり、適切な能力開発や教育訓練の機会を提供している。							4				8	9										
	10	【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている			応用	・パートタイム・有期雇用労働法、労働契約法などの内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。											8.5		10.2 10.3									
環境	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている			基本	・廃棄物に関しては指定された場所へ分別管理して廃棄している。 ・分析済み試料を可能な限り客先に返却することで廃棄物削減に努めている。													11.6 12.4 12.5				14.1					
	12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている			基本	・冷暖房の温度を適切に設定してエネルギー利用の効率化を進めている。 ・休憩中の不要時に消灯する等、省エネ・節電に努めている。											7.3						13					
	13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている			基本	・自社の電気・燃料に関するCO ₂ 排出量を把握している。 【検討中】自家消費型太陽光発電設備の導入。											7.2 7.3				12.4			13.3				

カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDG s のゴール・ターゲットのマッピング																		
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																									

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
1																								
2																								
3																								
4																								

【記載留意事項】

- SDG sのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。
(SDG sのゴール・ターゲットのマッピングの整数はSDG sのゴール(例:7)を表し、小数点を含む数字はターゲット(例:7.3)を表しています。)
- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。
なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- 「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。(※えるぼし認定、森林認証制度 など)